

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学
 対象学年組：第2学年 1組～4組
 教科担当者：（1組：小野澤）（2組：岩壽）（3組：岩壽）（4組：岩壽）
 使用教科書：「数学Ⅱ」（数研出版）
 使用副教材：改訂版「キートレーニング数学演習ⅠⅡⅢ 受験編」（数研出版）
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	数学ⅠⅡⅢⅣ 問題演習	・指導事項 ①数と式 ②2次関数 ③データの分析 ④図形の性質 ・教材 問題集	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心に演習問題を行うことにより、入試に対応できるように演習を行う。多角的に問題をとらえ本題の本質をとらえられるようにする。解説をただ行うのではなく、通常の解説ではあまり示されない考え方・方法についても示していく。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	数学ⅠⅡⅢⅣ 問題演習	・指導事項 ⑤図形と数量 ⑥場合の数と確率 ・教材 問題集	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心に演習問題を行うことにより、入試に対応できるように演習を行う。多角的に問題をとらえ本題の本質をとらえられるようにする。解説をただ行うのではなく、通常の解説ではあまり示されない考え方・方法についても示していく。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	数学ⅠⅡⅢⅣ 問題演習	・指導事項 ⑦式と証明 ⑧複素数と方程式 ⑨図形と方程式 ⑩三角関数 ⑪指数関数・対数関数 ・教材 問題集	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心に演習問題を行うことにより、入試に対応できるように演習を行う。多角的に問題をとらえ本題の本質をとらえられるようにする。解説をただ行うのではなく、通常の解説ではあまり示されない考え方・方法についても示していく。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	数学ⅠⅡⅢⅣ 問題演習	・指導事項 ⑫微分法・積分法 ⑬数列 ・教材 問題集	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心に演習問題を行うことにより、入試に対応できるように演習を行う。多角的に問題をとらえ本題の本質をとらえられるようにする。解説をただ行うのではなく、通常の解説ではあまり示されない考え方・方法についても示していく。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	数学ⅠⅡⅢⅣ 問題演習	・指導事項 ⑭整数の性質 ⑮ベクトル ⑯統計的な推測 ⑰まとめの問題 ・教材 問題集	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを中心に演習問題を行うことにより、入試に対応できるように演習を行う。多角的に問題をとらえ本題の本質をとらえられるようにする。解説をただ行うのではなく、通常の解説ではあまり示されない考え方・方法についても示していく。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
						合計	105

【知識及び技能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	A 単元 関数 （数学Ⅱの発展的内容） 【知識及び技能】 分数関数・無理関数・逆関数・合成関数の定義を理解し、グラフや関数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分数関数・無理関数のグラフと直線の位置関係や逆関数・合成関数の性質を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 逆関数・合成関数の考え方に興味をもち、積極的に理解を深めようとする態度を養う。	・指導事項 分数関数 無理関数 逆関数と合成関数 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 分数関数・無理関数・逆関数・合成関数の定義を理解し、グラフや関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 分数関数・無理関数のグラフと直線の位置関係や逆関数・合成関数の性質を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 逆関数・合成関数の考え方に興味をもち、積極的に理解を深めようとする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 単元 極限 （数学Ⅱの発展的内容） 【知識及び技能】 無限数列の収束・発散の意味を理解し、数列の極限が求められるようになる。無限級数の収束・発散をその部分から調べられるようになる。関数の極限値の性質を利用して、三角関数などの極限値を求めることができるようになる。関数の連続・不連続について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 無限等比数列の極限を、公比の値で場合分けしたり、無限等比級数の収束・発散を等比数列の和の極限を調べることで考察できるようにする。関数の極限について、数列の極限における考え方の類似点と相違点を理解し、正しく極限値を求めることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 簡単な無限数列の極限をグラフなどで直観的に考察したり、「項を無限に加える」ということを数学的に定義する方法を理解しようとする。グラフを利用して、関数の極限を考察しようとする。	・指導事項 数列の極限 無限等比数列 無限級数 関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 無限数列の収束・発散の意味を理解し、数列の極限が求められるようになる。無限級数の収束・発散をその部分から調べられるようになる。関数の極限値の性質を利用して、三角関数などの極限値を求めることができる。関数の連続・不連続について理解している。 【思考・判断・表現】 無限等比数列の極限を、公比の値で場合分けしたり、無限等比級数の収束・発散を等比数列の和の極限を調べることで考察できる。関数の極限について、数列の極限における考え方の類似点と相違点を理解し、正しく極限値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 簡単な無限数列の極限をグラフなどで直観的に考察したり、「項を無限に加える」ということを数学的に定義する方法を理解しようとする。グラフを利用して、関数の極限を考察しようとする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 単元 微分法 （数学Ⅱの発展的内容） 【知識及び技能】 微分係数、微分可能な定義とその図形的意味を理解させる。導関数の性質を利用して、種々の導関数を計算できるようにする。自然対数の底eの定義を理解する。曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数表示された関数の導関数が求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 導関数を微分係数から得られる新しい関数として理解できるようになり、微分法の定義に基づいていろいろな関数の導関数を証明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 微分係数の図形的意味を考察し、微分可能性と連続性について興味・関心をもつ。	・指導事項 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 関数のいろいろな表し方と導関数 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 微分係数、微分可能な定義とその図形的意味を理解する。導関数の性質を利用して、種々の導関数を計算できる。自然対数の底eの定義を理解する。曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数表示された関数の導関数が求められる。 【思考・判断・表現】 導関数を微分係数から得られる新しい関数として理解できるようになり、微分法の定義に基づいていろいろな関数の導関数を証明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分係数の図形的意味を考察し、微分可能性と連続性について興味・関心をもつ。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
4 学 期	D 単元 微分法的应用 （数学Ⅱの発展的内容） 【知識及び技能】 微分係数の意味を理解し、接線や法線の方程式を求められるようになる。平均値の定理を理解し、利用できるようになる。曲線の凹凸の定義を理解し、グラフを描くことができる。グラフを利用して、不等式の証明や方程式の解の個数問題を解けるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな条件を満たす接線の方程式を求められるようになる。グラフを描く際、関数の定義されていないところや、±∞のときの状態を調べることができるようになる。方程式の実数解の個数をグラフの交点の個数と読み替えて考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 平均値の定理に興味・関心をもち、図形的意味を考察しようとする。方程式や不等式を関数的視点でとらえ、微分法を利用して解決しようとする。	・指導事項 接線と法線 平均値の定理 関数のグラフ 方程式・不等式への応用 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 微分係数の意味を理解し、接線や法線の方程式を求められる。平均値の定理を理解し、利用できる。曲線の凹凸の定義を理解し、グラフを描くことができる。グラフを利用して、不等式の証明や方程式の解の個数問題を解ける。 【思考・判断・表現】 いろいろな条件を満たす接線の方程式を求められることができる。グラフを描く際、関数の定義されていないところや、±∞のときの状態を調べることができる。方程式の実数解の個数をグラフの交点の個数と読み替えて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平均値の定理に興味・関心をもち、図形的意味を考察しようとする。方程式や不等式を関数的視点でとらえ、微分法を利用して解決しようとする。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
5 学 期	E 単元 積分法 （数学Ⅱの発展的内容） 【知識及び技能】 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積分法に興味・関心をもち、その規則性を発見しようとする意欲をもち、積極的に問題解決に利用しようとする。	・指導事項 不定積分とその基本性質 置換積分法 部分積分法 いろいろな関数の不定積分 定積分とその基本性質 定積分の置換積分 定積分の部分積分 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 不定積分・定積分の定義や基本性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分・定積分を求める。置換積分法や部分積分法を利用し、それを利用して複雑な関数の不定積分・定積分が求められる。 【思考・判断・表現】 不定積分が微分の逆演算であることを理解している。合成関数の逆演算として、置換積分を理解している。積の微分の逆演算として、部分積分を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積分法に興味・関心をもち、幾何学的意味や解析学的意味を考察しようとする。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計 105

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 数学 科目 数学B

教科：数学

科目：数学B

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 4組

教科担当者：（1組：村木）（2組：村木）（3組：村木）（4組：村木）

使用教科書：「数学B」（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力や解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。	離散的な変化の規則性に着目し、日常の事象や社会の事象を数式化したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付ける。	数学の良さを認識し、数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断できる力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 空間のベクトル(数学Bの発展的内容) 【知識及び技能】 空間ベクトルの基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 空間ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 空間ベクトルに関心をもつとともに、それらを活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・指導事項 空間の座標 空間ベクトルの成分・演算 位置ベクトル ベクトルと空間図形 ・教材 体系数学4 授業プリント 問題集	【知識・技能】 空間ベクトルの基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 空間ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間ベクトルに関心をもつとともに、それらを活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	B 単元 確率分布 【知識及び技能】 確率変数の期待値、分散、標準偏差が求められるようになる。連続的な確率変数について理解し、その期待値と分散が求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることの良さに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。	・指導事項 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 二項分布・正規分布 ・教材 体系数学4 授業プリント 問題集	【知識・技能】 確率変数の期待値、分散、標準偏差が求められる。連続的な確率変数について理解し、その期待値と分散が求められる。 【思考・判断・表現】 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることの良さに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 単元 統計的な推測 【知識及び技能】 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差が求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。推定や信頼区間の考え方がわかる。 【学びに向かう力、人間性等】 母集団や標本の特徴を理解しようとする。母平均や母比率の推定に関心を示す。	・指導事項 標本平均とその分布 推定 ・教材 体系数学4 授業プリント 問題集	【知識・技能】 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差が求められる。 【思考・判断・表現】 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。推定や信頼区間の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 母集団や標本の特徴を理解しようとする。母平均や母比率の推定に関心を示す。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	D 単元 複素数平面 (数学Bの発展的内容) 【知識及び技能】 複素数平面の定義を理解し、複素数の演算の図形的意味を理解する。極形式を利用して複素数の積・商を求めることができるようになる。ド・モアブルの定理の有用性を理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 極形式を利用することで複素数の乗法・除法の図形的意味が明らかになることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数平面を考えることにより、複素数の図形的側面が明らかになることを理解しようとする。	・指導事項 複素数平面 極形式 ド・モアブルの定理 ・教材 体系数学5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 複素数平面の定義を理解し、複素数の演算の図形的意味を理解する。極形式を利用して複素数の積・商を求めることができる。ド・モアブルの定理の有用性を理解し、活用できる。 【思考・判断・表現】 極形式を利用することで複素数の乗法・除法の図形的意味が明らかになることを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 複素数平面を考えることにより、複素数の図形的側面が明らかになることを理解しようとする。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
				○	○		合計 70

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 数学

科目 数学C

教科： 数学

科目： 数学C

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1組～ 4組

教科担当者： (1組：村木) (2組：村木) (3組：村木) (4組：村木)

使用教科書： 「数学C」(数研出版)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を的確に表現してその特徴を表す。式、グラフを相互に関連付けて考察する力や解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。数学的な表現の工夫について認識を深める。	図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	F 単元 式と曲線 【知識及び技能】 放物線・楕円・双曲線の定義を理解し、それぞれの方程式を求めることができるようにする。2次曲線と直線の位置関係を理解し、接線の方程式を求めることができるようになる。2次曲線や円を、媒介変数を用いて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。X、yについての方程式では表しにくい曲線を媒介変数表示を用いて考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。2次曲線の標準形と媒介変数表示の変換に興味・関心をもち、進んで考察しようとする。	・指導事項 2次曲線 2次曲線と直線 媒介変数表示と極座標 ・教材 体系数学 5 授業プリント 問題集	【知識・技能】 放物線・楕円・双曲線の定義を理解し、それぞれの方程式を求めることができる。2次曲線と直線の位置関係を理解し、接線の方程式を求めることができる。2次曲線や円を、媒介変数を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。x、yについての方程式では表しにくい曲線を媒介変数表示を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。2次曲線の標準形と媒介変数表示の変換に興味・関心をもち、進んで考察しようとする。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1 合計 35

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科：数学 科目：数学Ⅲ 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～3組 選択者

教科担当者：（発展クラス：武田 脩平）（標準クラス：清水 徳子）

使用教材：「数学Ⅲ」（数研出版）「オリジナル・スタンダード 数学演習Ⅲ・C」（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力や解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法および積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につける。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、極限、微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身につける。	極限、微分法および積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 積分法の応用 【知識及び技能】 直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、立体や回転体の体積を求めることができる。定積分を用いて、曲線の長さや座標平面上の点が動く道のりを用いて求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの上下関係、積分範囲などを図にかいて考察して、種々の曲線で囲まれた部分の面積や立体や回転体の体積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積分法に応用に興味・関心をもち、その規則性を発見しようとする意欲をもち、積極的に問題解決に利用しようとする。	・指導事項 面積 体積（一般の立体、回転体） 曲線の長さ 速度と道のり ・教材 教科書 補助プリント 問題集	【知識・技能】 直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、立体や回転体の体積を求めることができる。定積分を用いて、曲線の長さや座標平面上の点が動く道のりを用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 グラフの上下関係、積分範囲などを図にかいて考察して、種々の曲線で囲まれた部分の面積や立体や回転体の体積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積分法に応用に興味・関心をもち、その規則性を発見しようとする意欲をもち、積極的に問題解決に取り組んでいる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	B 単元 極限（問題演習） 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 極限に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 極限 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 極限の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、極限の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 極限に興味・関心をもち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 単元 微分法とその応用（問題演習） 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分法とその応用に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 微分法とその応用 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 微分法の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、微分法とその応用の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分法とその応用に興味・関心をもち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	D 単元 積分法とその応用 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積分法とその応用に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 積分法とその応用 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 積分の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、積分法とその応用の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積分法とその応用に興味・関心をもち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1	
3 学期	共通テスト・私立大学・国公立大学2次試験 に対する個別対応						合計 104

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 数学 科目 数学記述演習

教科：数学

科目：数学記述演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 3 組 選択者

教科担当者：（理系発展クラス：小野澤 洋平）（理系標準クラス：武田 脩平）（文系クラス：武田 脩平）

使用教材：「クリアー 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編」（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力や解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学記述演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
問題演習を通して、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につける。	問題演習を通して、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cにおける数学的な見方や考え方を身につける。	問題演習を通して、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cに関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	A 単元 整数・確率・図形と方程式 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 整数・確率・図形と方程式に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 整数 確率 図形と方程式 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 整数・確率・図形と方程式の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、整数・確率・図形と方程式の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 整数・確率・図形と方程式に興味・関心を持ち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
1 学期	B 単元 数列・ベクトル・指数関数・対数関数 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列・ベクトルに関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 数列 ベクトル 指数関数・対数関数 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 数列・ベクトル・指数関数・対数関数の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、数列・ベクトル・指数関数・対数関数を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列・ベクトル・指数関数・対数関数に興味・関心を持ち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 単元 三角関数・微分法・積分法 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数・微分法・積分法に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 三角関数 微分法・積分法 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 三角関数・微分法・積分法の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、三角関数・微分法・積分法の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数・微分法・積分法に興味・関心を持ち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	D 単元 関数と方程式・不等式・式と証明 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 関数と方程式・不等式・式と証明に関心をもつとともに、それらの問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 関数と方程式・不等式 式と証明 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 関数と方程式・不等式・式と証明の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、関数と方程式・不等式・式と証明の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数と方程式・不等式・式と証明に興味・関心を持ち、それらの問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	共通テスト・私立大学・国公立大学2次試験 に対する個別対応					合計 32	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 数学 科目 共通テスト演習

教科： 数学 科目： 共通テスト演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 3 組 選択者

教科担当者： (クラス①)： 武田 侑平 (クラス②)： 小野澤 洋平

使用教材： 「ニュースタンダード 数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 受験編」(数研出版)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力や解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 共通テスト演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
共通テスト問題演習を通して、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cにおける基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身につける。	共通テスト問題演習を通して、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cにおける数学的な見方や考え方を身につける。	共通テスト問題演習を通して、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cに関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			記 当 時 数
1 学 期	A 単元 整数・確率・図形と方程式 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 整数・確率・図形と方程式に関心をもつとともに、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 整数 確率 図形と方程式 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 整数・確率・図形と方程式の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、整数・確率・図形と方程式の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 整数・確率・図形と方程式に興味・関心をもち、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
1 学 期	B 単元 数列・ベクトル・指数関数・対数関数 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列・ベクトルに関心をもつとともに、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 数列 ベクトル 指数関数・対数関数 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 数列・ベクトル・指数関数・対数関数の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、数列・ベクトル・指数関数・対数関数を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列・ベクトル・指数関数・対数関数に興味・関心をもち、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 三角関数・微分法・積分法 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数・微分法・積分法に関心をもつとともに、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 三角関数 微分法・積分法 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 三角関数・微分法・積分法の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、三角関数・微分法・積分法の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数・微分法・積分法に興味・関心をもち、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 関数と方程式・不等式・式と証明 【知識及び技能】 問題解決のために、既習事項である基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決のために、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 関数と方程式・不等式・式と証明に関心をもつとともに、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組もうとする。	・指導事項 関数と方程式・不等式 式と証明 ・教材 問題集 補助プリント 教科書	【知識・技能】 関数と方程式・不等式・式と証明の定義、表記について理解し、基本的な概念、原理、法則などを正しく選択し利用することができる。 【思考・判断・表現】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることで、関数と方程式・不等式・式と証明の問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関数と方程式・不等式・式と証明に興味・関心をもち、それらの共通テスト対策問題を解決するために積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	共通テスト・私立大学・国公立大学2次試験 に対する個別対応						合計 32

